

YLCA.Lab

NPO法人 横浜LCA環境教育研究会

～エコライフのための～ ライフサイクルアセスメント

11月18日 日曜日 10:00～12:30

会場 横浜市市民活動支援センター 4階 セミナールーム
桜木町駅 徒歩7分
http://opencity.jp/yokohama/pages/gp/idx.jsp?page_id=14

定員 30名(先着順) **参加費** 800円

申込み Eメール ylca2011@live.jp
ファクス045-223-2888(YLCA.Lab-レターケース70宛)

第1部 市民のためのライフサイクルアセスメント(LCA)概論
演者:本藤祐樹 先生
(横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授)

第2部 ソフトウェア「カバンの中でも温暖化!?!」によるLCA実施体験

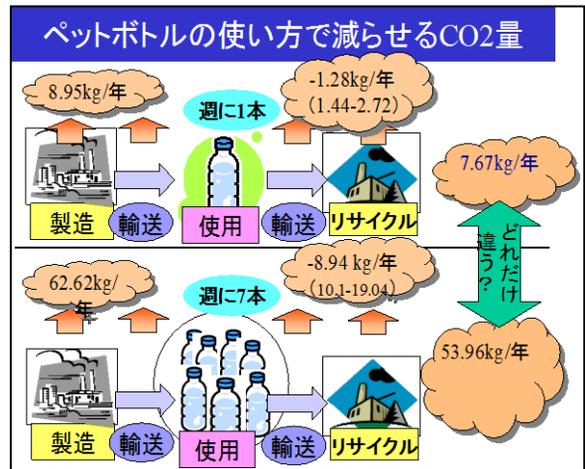
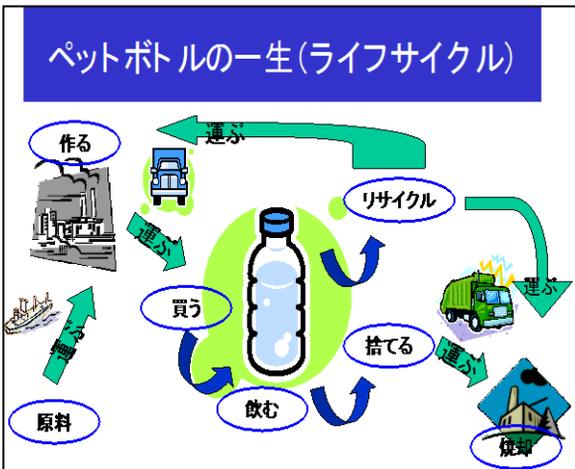
第2部はパソコンによる実習を中心としております。ご参加の方は、OS/ Windows XP (SP3)以降、ディスプレイ12インチ以上のノートパソコンをご持参ください。(貸出ご希望(有料)の方は、申し込み時にお知らせください。)



ライフサイクルアセスメント(LCA)ってなに？

ゴミ削減、リサイクル、節電、いろいろなエコライフがありますが、普通に生活していても生活に必要な様々なモノの製造や輸送といったライフサイクルを通して何らかの環境負荷を及ぼしています。しかし、その詳しい中身を知るのは複雑で大変でもあり、ついつい見逃されがちです。

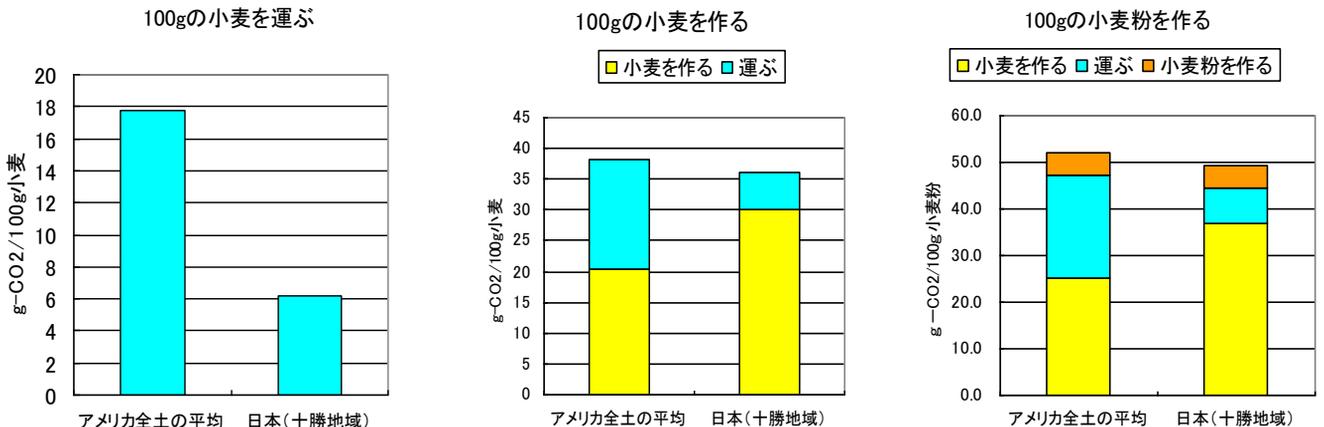
このワークショップでは、製品サービスの環境影響を評価する手法であるライフサイクルアセスメント(LCA)を応用し、生活の中のモノを通じた環境負荷について学び、考えていただくものです。簡単なLCAも体験していただけます。現在環境活動・環境教育を実践している方にもお役立ていただけます。



毎日ペットボトルを買うより週1本の方が二酸化炭素は減らせます。

モノには一生があります。この一生の色々な場面で環境に影響が出ることがあります。これらの影響はモノを使う人が、注意しないといけないことです。

物を運ぶ時の影響だけでなく産地の違いで環境影響が変わることも考えるのがLCAです。



小澤寿輔、奥村元、佐藤邦光、岡本邦義、「小麦、小麦粉、食パンのLC-CO2試算」、日本LCA学会第2回研究発表会(2007年3月)より作成